

# 村営コミュニティバスを活用した貨客混載の取組み カリコボーズの「ホイホイ便」事業について

宮崎県西米良村



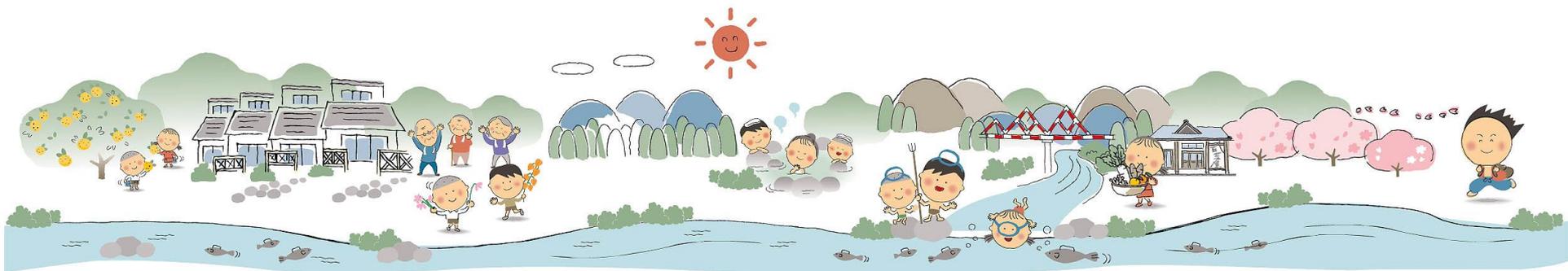
西米良村マスコットキャラクターの「ホイホイ君」





# 西米良村の概要

|      |   |
|------|---|
| 沿革   | 明治22年5月1日 村制施行<br>* 旧米良領のうち「東米良」地区は近隣市に合併 |
| 人口   | 992人(男性507人 女性485人) ※R7.6.1現在             |
| 世帯数  | 528世帯                                     |
| 高齢化率 | 41.53%(65歳以上412人)                         |
| 行政区  | 8地区                                       |

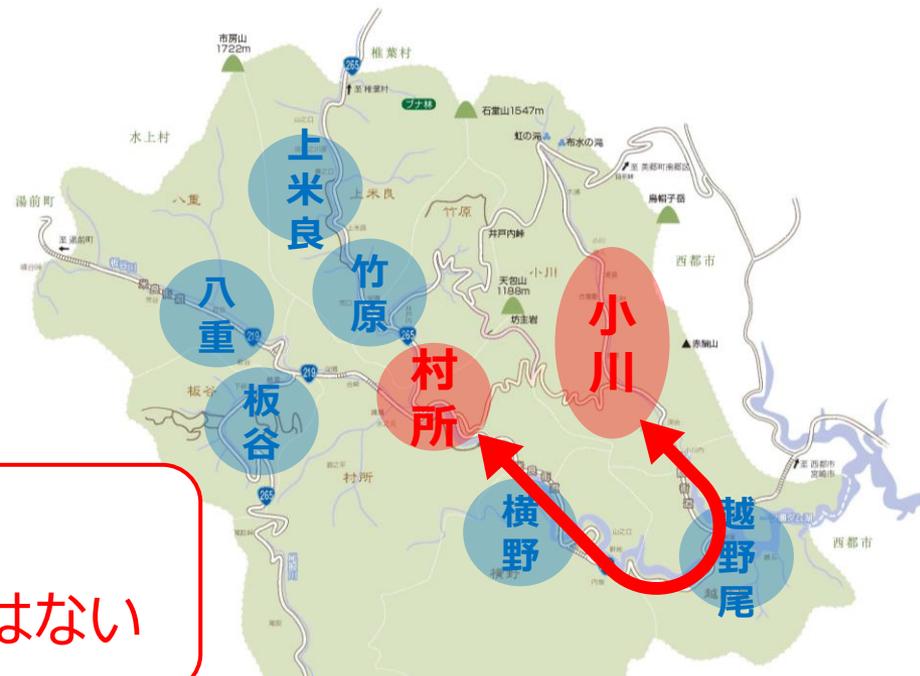




# 小川地区の概要

- 人口 60人 (R7.6.1)
- 世帯数 40世帯
- 高齢化率 58.33%
- 村中心部から約21km
- 移動時間 約30分

- 各宅配事業者は少量でも配達
- 村営バス乗客は満席になることはない





# カリコボーズのホイホイ便事業の概要

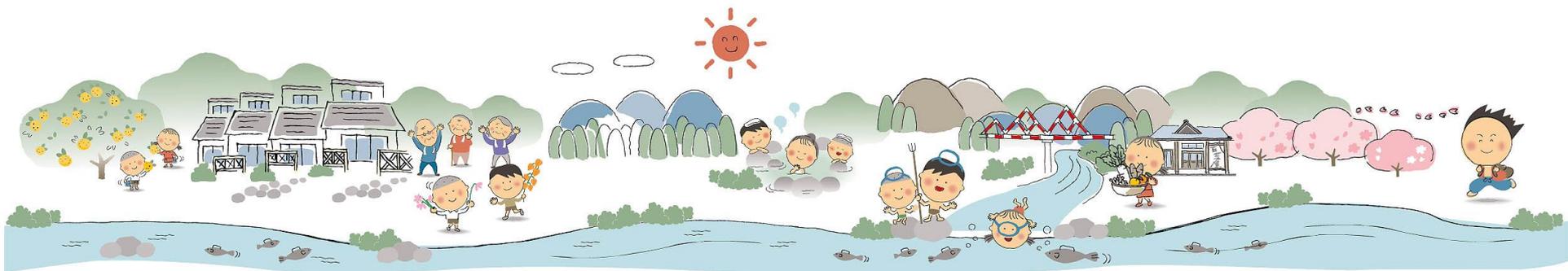
○村営のコミュニティバスを活用した貨客混載（2020年3月開始）  
（拠点間：村所驛～おがわ作小屋村）

○村内便の荷物のほか、日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便の荷物  
も共同輸送・配達

※村内便とは、運送事業者を介さない、村内で発送・受領が完結する荷物（観光施設への土産品など）

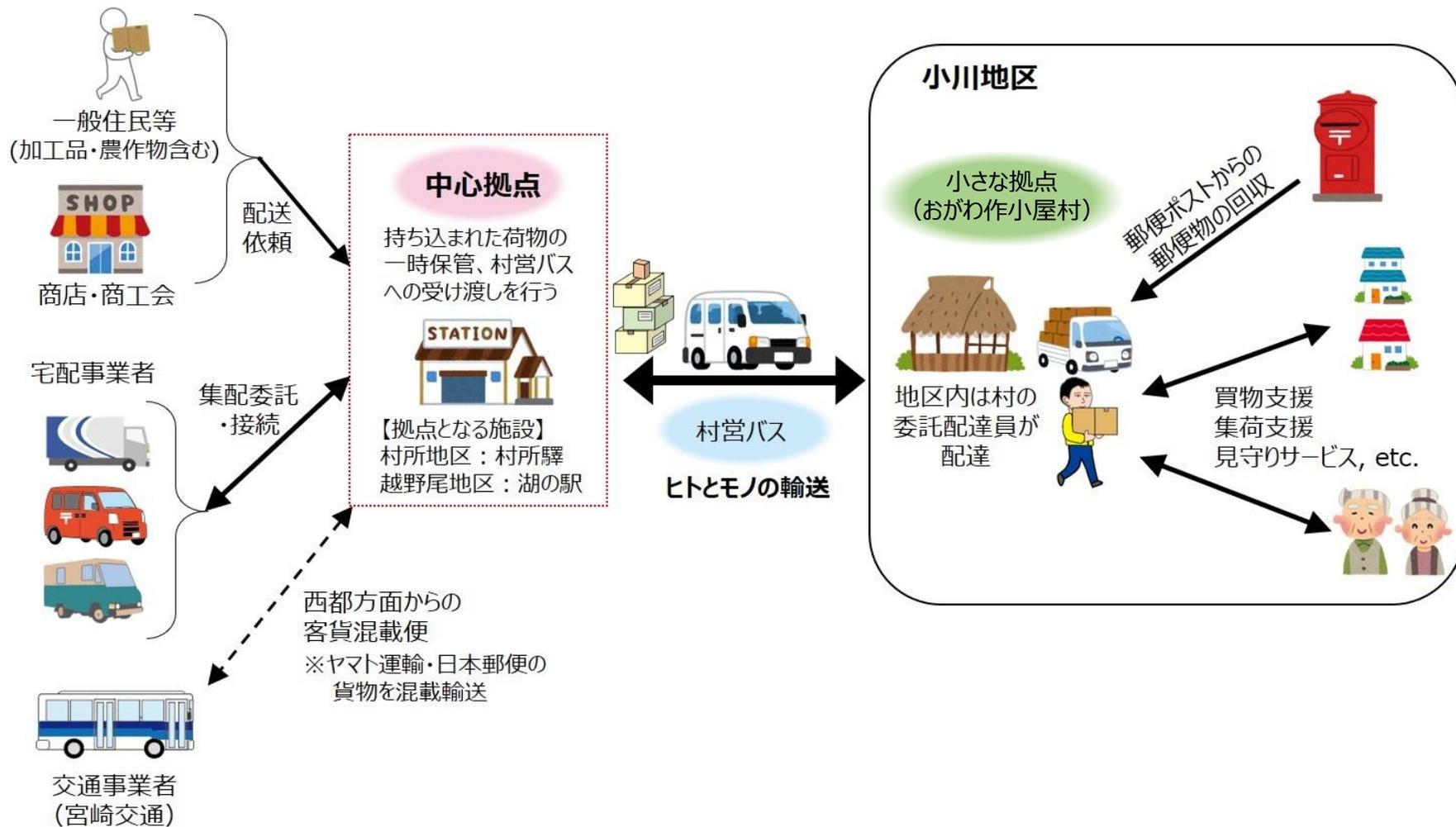
○上記の荷物で、小川地区に配送するものを取り扱う

○小川地区の拠点（おがわ作小屋村）からは、専用の配達員が各  
戸配達・集荷（高齢者の見守りを兼ねる）





# ホイホイ便事業のイメージ





# 契約の形態と許可

日本郵便(株)

ヤマト運輸(株)

佐川急便(株)

業務委託  
(配達・一部集荷)

西米良村

業務委託  
(配達・一部集荷・高齢者見守り)

ホイホイ便配達員

村営バス

- 自家用有償旅客運送者登録（コミュニティバス）  
⇒白ナンバー車両による旅客運送
- 少量貨物有償運送許可  
⇒村営バスでの貨客混載

配達車両

- 軽貨物自動車運送業

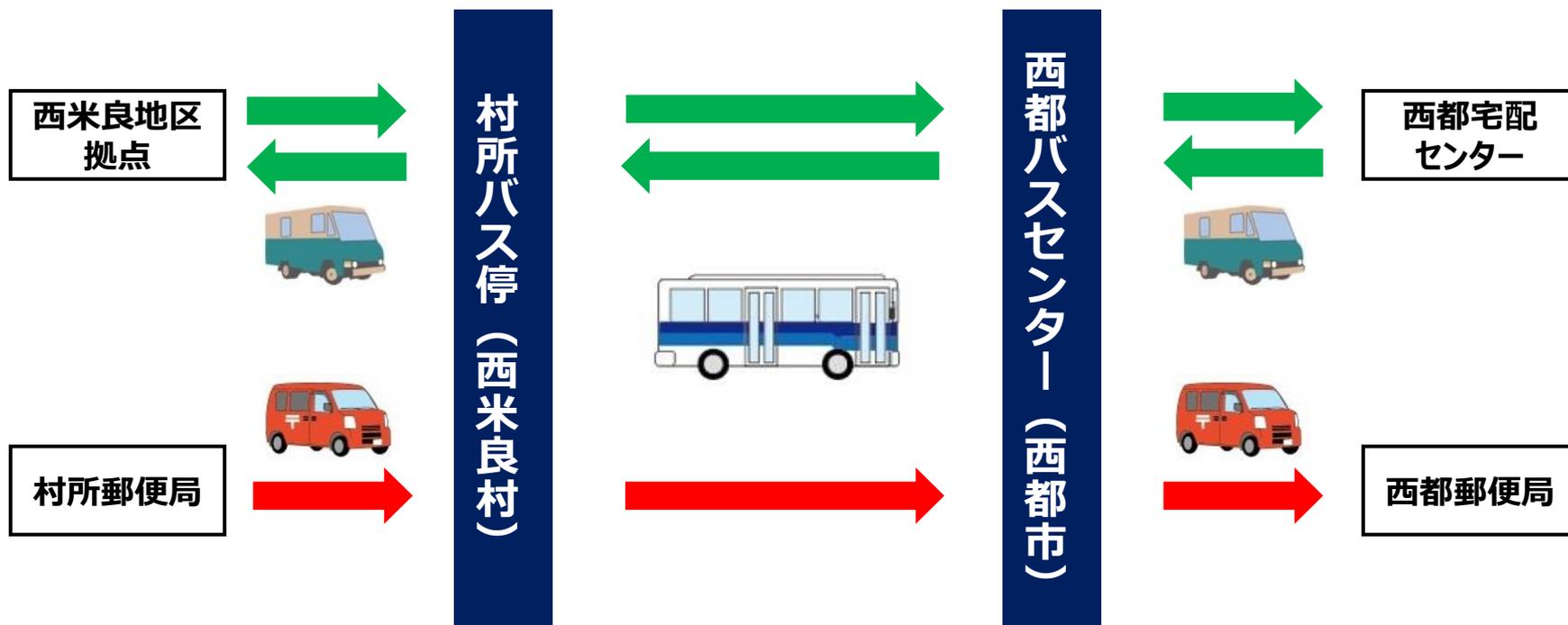


# 事業の経緯

|                 |  |
|-----------------|--|
| H22年度<br>(2010) | 貨客混載事業の可能性調査に着手（日本都市計画学会九州支部）  |
| H27年度<br>(2015) | 「地域を支える持続可能な物流ネットワークの構築に関するモデル事業」採択（国土交通省）<br><b>ホイホイ便プロジェクト協議会</b> の立ち上げ<br><b>村内便</b> の集荷・配達による <b>実証運行</b> 実施 |
| H28年度<br>(2016) | 「ネットワークで明日に繋ぐ！「宮崎ひなた生活圏」モデル構築事業」採択（宮崎県）<br>村内便に加え、 <b>宅配物・郵便物</b> の <b>試行的配達</b> による <b>実証運行</b> 実施              |
| H30年度<br>(2018) | 「地域公共交通生産性向上促進事業」採択（宮崎県）<br><b>日本郵便、ヤマト運輸</b> の協力のもと <b>実証運行</b> 実施  |
| H31年度<br>(2019) | 本格運行に向けた協議・検討（日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便）<br><b>2020年3月より本格運行開始</b>   |



# 路線バスを活用した貨客混載（宮崎交通）



- H27.10.1 宮崎交通とヤマト運輸でスタート
- H29.1.16 クール便対応可
- H30.2.20 日本郵便もスタート

西米良村（村所バス停）と西都市（西都バスセンター）間を走る宮崎交通の路線バスで、ヤマト運輸、日本郵便の荷物も輸送する。



# 貨客混載事業による効果

## 住 民

- 集荷時間延長による利便性の向上
- 買い物支援事業の実施（村内滞在時間延長による）
- 路線バス維持による生活基盤確保

## バス事業者

- バス路線生産性の改善
- バス路線の維持

## 運送事業者

- 共同配送による効率化
- 走行距離削減（CO2排出削減）
- ドライバーの負担軽減



## 今後の課題

---

- 生活者の視点に立った物流の観点から、地方に人が住み続けるための条件整備・施策が必要
  - ・交通、物流の効率化に向けた規制緩和
  - ・配送地区の拡大
- 「人口減少・高齢化社会 = 消費・物流の縮小」の中で、人の流れと物流システムをどのように維持していくか
  - ・ドライバー不足・負担軽減対策
  - ・西米良村までの配送手段（ミドルマイル）
  - ・各機関との調整が複雑